

令和元年度

第35回 総会・懇親会

<開催日時> 令和元年 11月16日(土) 午後2時開会

<開催場所> Live レストラン 青山



《会長挨拶》

東京支部会長 桂 正 洋

本日は、ご多忙にもかかわらず、大勢の皆様のご出席をいただき誠にありがとうございます。

残念ながらご欠席となられた会員の皆様からも、メッセージや会費の振り込みをいただきました。感謝申し上げます。

先の台風・大雨により、関東地方も多くの被害が発生しました。皆様はいかがでしたか。被災された会員の方もおられるかと思います。この場を借りてお見舞い申し上げます。

1. 母校栗山高校は今年、創立90周年を迎えました。先週(11月9日)、記念式典が盛大に挙行され、私も出席してきました。栗山高校が今後も、関係者の皆様の変わらぬご尽力と地域のご支援を得て、南空知の基幹校としてしっかりと発展されることを期待しましょう。

2. 一方、当東京支部も本年、設立40周年の節目を迎えました。これもひとえに、会員の皆様のご協力と、同窓会本部をはじめとする多くの皆様のご支援の賜物とあらためてお礼申し上げます。

3. 本日は、「会則の改正」及び「役員の改選」等の重要な事項があります。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

4. 今回の会場は、ライブレストランとしました。ご覧のとおりステージも立派ですし、音響も素晴らしいです。当レストランのオーナーは北海道出身の演歌歌手・松前ひろ子さんで、歌手・三山ひろしの師匠としても知られています。彼はこのレストランで働き、このステージで歌の指導を受けたと聞いています。「けん玉」の練習をここでしたかはわかりません。本日は、ご案内のとおり、41年卒のシャンソン歌手・下田まゆみさんにこのステージで歌唱していただくこととしています。大変楽しみにしております。

5. 二年ぶりでございます。どうか、おしゃべりとともに食事もたのしまれ、ゆったりとひと時を過ごしていただきますようお願いいたします。して挨拶とします。

《会務報告》

本日は、栗高同窓会東京支部の第35回総会です。ここに開催できますことは、会員皆様のご支援とご協力の賜物と感謝申し上げます。本日の出席者は来賓含め45名ですが、4名の方が初参加していただきました。

総会案内は587名の方に送付し、返信数は156名で、125名の方から年会費を納付していただきました。誠にありがとうございました。

前回総会から本日までに3回の役員会を開催し、「支部だより」の編集・発行や活動計画の策定、第35回総会開催に向けての準備作業等を行いました。また、栗高創立90周年記念式典に会長が出席し、お祝いを行いました。

本日の総会では、会計報告の承認、現状に

即した会則の変更、さらには会則変更に伴う役員の選任を行います。

総会に先立って、栗山高等学校高橋校長、栗高同窓会本田会長並びに栗高さっぽろ会ト部会長から「お祝いのことば」をいただきました。

また、来賓として栗高同窓会山本信二事務局長の出席をいただきました。

最後に、出席を頂いた会員を始め多くの会員に対し、支部会費の納入、情報や資料の提供、そしてご意見・ご提案に改めて感謝致します。引き続きよろしくお願い致します。

《事務局》

栗高同窓会東京支部 平成29年度～30年度 決算報告 (H29.4.1～H31.3.31)

＜収入の部＞

※単位：円

平成28年度繰越金	434,870
平成29年度（第34回）総会参加費 @6,000円 × 54名	324,000
年会費 @2,000円 × 114名	292,000
栗高同窓会本部助成金（平成27年度～29年度分）3万円 3回受取	90,000
合 計 ①	1,186,870

＜支出の部＞

※単位：円

平成29年度（第34回）総会・懇親会費用 @5,500円 × 54名	297,000
平成29年度（第34回）総会案内諸掛	126,809
「支部便り」（第34号）発刊諸掛	184,885
役員会開催費用（2回開催）	41,268
振込及び払出手数料	17,164
旅費	20,000
通信費等その他費用	46,459
資料等コピー代	1,560
雑費	26,200
合 計 ②	761,345

＜収支の部＞

収支差額（次期繰越金） ① - ② = 425,525 円

令和元年11月16日

上記の通り報告いたします。

会計担当 松 本 洋 幸

監査の結果、適正に処理されていることを報告いたします。

会計監査 元 田 豊 治

会計監査 岡 崎 栄 子

東京支部総会に寄せて

北海道栗山高等学校長 高 橋 尚 紀

栗山高校同窓会東京支部第 35 回総会・懇親会が、盛大に開催されますことに心よりお祝い申し上げます。

栗山高校同窓会東京支部の皆様におかれましては、本校教育の振興に御理解と多大なる御支援を賜っていることにお礼を申し上げます。

さて、本校は今年度、開校 90 周年を迎え、様々な記念行事が実施されているところです。同窓会の皆様とともに、この慶事を喜びたいと存じます。そして、100 周年に向けて新たなスタートを期したいと考えております。

皆様、御承知のとおり、少子化が進み、本校も含め、どの高校も定員に満たない状況となっており、学校が生徒を選ぶ時代から生徒が学校を選ぶ時代へと変わっております。そのため、学校は生徒に選ばれるような特色ある学校づくりを一層進め、これまで以上に、生徒にとって「魅力ある学校」としなければなりません。

「魅力ある学校」とは、「期待して入学する学校」であり、「入学後、期待どおりの学校」、さらには「卒業後も、素晴らしい学校だと改めて実感し、誇りに思える学校」ではないでしょうか。栗山高校同窓会東京支部の皆様が、総会・懇親会にお集まりになることは、卒業後誇りに思える「魅力ある学校」の証です。引き続き、「魅力ある学校」とするために、皆様方が築いてこられました伝統を、守り続けなければならないと考えております。一方、時代とともに、学校への期待も変わっておりますので、旧態依然とした教育を行っていると言われ、進化する伝統校でなければならないと考えております。

今年度から、栗山町が栗山高校支援検討委員会を設けてくださり、様々な支援の手をさしのべてくださっています。その中で、教育用クラウドシステムの導入を支援していただいています。また、北海道教育委員会の北海道立学校ふるさと応援事業により、本校を応援くださる方々にふるさと納税で本校に寄附をしていただき、その支援を受けて、校内に Wifi 環境とタブレットの導入を図っています。多くの皆様方に御支援をいただき、本校の教育に積極的に ICT を取り入れることによって、新しい時代に対応した様々な教育活動に取り組んでまいりたいと存じております。

進化する伝統校として、こうした取組は始まったばかりではありますが、引き続き、皆様の厚い御支援をいただきますようお願いいたします。

話は変わって、本校は、今年度も部活動が活躍しております。高体連支部大会を勝ち抜き、弓道部とテニス部、そして個人で出場した水泳が全道大会に出場しました。また、高文連大会で、書道部の 3 年生下元柚果さんが、7 月に佐賀県で開催された全国総合文化祭に参加するとともに、全道書道展・研究大会には 8 名が出場、美術部も全道大会に進出しております。生徒の活躍は本校にとって活力の源です。これからも応援よろしく願いいたします。

終わりになりますが、栗山高校同窓会東京支部のますますの御発展と皆様の御健勝を祈念しますとともに、様々な機会を通して、本校への忌憚のない御意見をお聞かせいただくことをお願い申し上げます。

ご 挨拶

栗高同窓会会長 本 田 諭

晩秋の候 貴支部におかれましては益々ご清栄のことと存じます。

平素は、特段のご配慮を賜り誠に有難うございます。厚くお礼を申し上げます。

さて、平成から令和へと元号が移り、半年が過ぎました。時を新たに迎え、心にも何かしらの希望を持って迎えました。日本の平和、そして世界の平和を願い、これからどう移り変わりをしていくかを見守っているところです。皆様も令和の時代の未来に希望を託していることと存じますが、今年もはや秋の深まりを肌で感じる季節を迎えました。北国では冬の知らせが参り、山々は紅葉に染まり深まりを感じております。栗山もそれぞれの分野でイベントも終わり、農家では収穫も終わりに近づいてきました。北海道も今年は大きな自然災害もなく、このまま過ぎて欲しいと願っております。

さて、このたび貴支部におかれましては、第35回総会を迎えられますことに心よりお祝い申し上げます。

当時の思い出が甦ってきていることと存じます。本当に喜ばしく思っております。

今年は、我が栗山高校も90年の歴史を迎える運びとなりました。創立以来の方々のご尽力に敬意と感謝を申し上げます。

本栗高も現実に今やどこの地域においても少子化が進み、間口が大変少なくなりました。歴史ある栗高を維持していくために地域の皆様の知恵をお借りし努めているところであります。

この90周年を無事終え、未来に向かって皆様の更なるお力を賜り栗高を応援していただき発展させて行きたいと思っております。

終わりに、東京支部の皆様方のご多幸とご発展を心よりご祈念申し上げましてご挨拶に代えさせていただきます。

ご 挨拶

栗高さっぽろ会会長 ト 部 喜 雄

北海道は、初冬の季節を迎えています。栗高同窓会東京支部の皆様、如何お過ごしでしょうか。近年の自然は、豪雨、台風、地震など私たちの生活を脅かしています。自然のみならず、10月から消費税が増税されるなど生活を苦しめる政治も行われています。

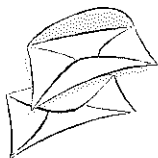
栗高同窓会の会員は、母校の校歌にある「空知の原に咲き匂う小百合の薫り身にはしめ」の精神で、元気に清らかに生活していることと存じます。

現在栗山高校には、児童生徒の減少に伴い、学級減の波が押し寄せていますが、生徒たちは進学でも部活でも頑張っています。

11月9日、栗山高校は創立90周年の式典・祝賀会を行いました。創立記念日以前の歴史を含めると約100年の足跡があります。この栗高の伝統の火を消してはなりません。

東京支部の皆様にも、ぜひ母校存続のご協力をお願いします。栗高さっぽろ会は、9月7日第26回の総会・懇親会を実施し、「栗山高校を支援する会」に加入を決定し、母校の発展に尽力する決意です。

向寒の折、会員の皆様のご健勝と貴支部の一層の発展を祈念します。



<会員だより>

※会員だよりは、令和元年度総会・懇親会（11/16）案内のうちに「返信はがき」を寄せられた方および各会員の近況などの内容を紹介するものです。

【出席者】

<来賓> 栗高同窓会事務局長

・山本 信二

<S29年卒>

・丸岡 利市 私も胃の切除後5年が経過し、目下年齢相応の体調を維持しています。2年ぶりに皆さんと再会できますことを楽しみにしています。

<S31年卒>

・水上 俊克 多くの人たちが出席できると良いですね。

・横岡 武之 ご盛会を祈ります。

<S32年卒>

・大澤 進 転居しました。

<S35年卒>

・山代 省琢

<S37年卒>

・桂 正洋 多くの皆さんにご出席いただけると良いですね。

・砂澤 昭子 元気に毎日を送っています。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

・瀬川 美江 ・佐々木 淳司

<S39年卒>

・高宮 博喜 久しぶりに皆様に会えるのを楽しみにしています。

・寺澤 澄雄 皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

・高橋 昌和 ・小川 游

<S40年卒>

・小池 アツ子 久しぶりの参加、楽しみです。

・寺澤 憲子 皆様にお逢いするのを楽しみにしています。

・中野 恵子 久しぶりに、級友3人で出席させていただきます。

・元田 秀芳 ・松本 洋幸

<S41年卒>

・下田 真由美 このたびは歌で参加させていただき、ありがとうございます。

・藤野 哲男 桂会長にお声を掛けて頂き、今回初出席となります。

・松本 富恵子

<S42年卒>

- ・楠 文 利 今年2月坐骨神経になり、2か月間歩けませんでした。松葉杖を使っていました。年を取るということは正常な箇所がどんどん少なくなるという事ですね。
- ・小 寺 節 皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

<S43年卒>

- ・太 田 見知代 我々より若い世代の出席を期待しています。存続の危機を感じますので。
- ・瀬 尾 明 昨年は札幌でクラス会があり、15名が集いました。少し話すと50数年前にもどり、楽しい時間をすごしました。
- ・細 川 雅 司 今年70歳となります。定年後、職につかず、年金生活をおくっております。
- ・和 田 幸 廣 前回に続き2度めになります。今年古希を迎えました。同窓会・OB会・家族と絆を大切に過ごしたいと思います。同窓会では色々な情報が頂けるので皆様とお会いするのを楽しみにしています。
- ・安 島 長 市

<S44年卒>

- ・水 内 義 時 今回も参加致します。
- ・気 仙 祥 司 ・辻 谷 博

<S45年卒>

- ・元 田 勝 蔵 本年長女が結婚して、2月に初孫が生まれる予定です。
- ・吉 田 敏 明 昨年バイクで大ケガをしましたが、元気で第2の人生を走っています。ステージで歌をうたっています。
- ・元 田 豊 治 ・堀 英 夫

<S46年卒>

- ・牛久保 眞知子 田舎へ通うようになって2年が過ぎました。土をいじることが好きなんだということに気付きました。体が動く限り続けようかと思っています。田舎へ行くと、東京へ帰る前日、必ず学生時代のサークル仲間と会います。病気で既に4人が亡くなっています。お互いの元気を確かめ合っています。栗高の同窓会も同じですね。
- ・久 世 郁 夫 皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

<S48年卒>

- ・谷 内 稔 税理士開業3年になりました。まだまだ動けるので続けていきたいと思っています。
- ・山 田 泰 士 あい変わらず全国を飛び回っています。元気なうちはこれもありです。
- ・澤 田 昌 子 ・水 田 桂良美

<S50年卒>

- ・坂 本 秀 司 初めて参加させていただきます。

<S54年卒>

- ・村 瀬 好 美

<S63年卒>

- ・安島陽子 みなさんとお会いできる会がいつまでも続きますように。

【連絡を頂いた欠席者及び会費を納入していただいた会員のお名前】

<S28年卒>

- ・真貝 晃 仕事やめて二年半毎日ブラブラしていますが、歳のせいか病院通いが多くなりました。
- ・下岡房子

<S29年卒>

- ・中添 淳 残念ですが他会とぶつかり出席できません。皆様によろしくお伝え下さい。
- ・大丸 二次郎

<S30年卒>

- ・青沼祥子 80歳過ぎましたが、子供たちに「絵本の読み聞かせ」を続けています。
- ・山内宜彦 今は町内の長寿会でグランドゴルフ、カラオケetc 90歳超えの長老連より82～3歳はまだまだ若いと言われ ウフフフ…の日を過ごしています。
- ・渡辺照香 体の調子が悪くて出席できません。来年こそはと思っています。
- ・渡辺弘子 年相応に元気に過ごしています。
- ・寒河江 則之 ・佐藤淑子 ・佐野令子 ・清水ミヤ子
- ・山本鐵生 ・渡辺光栄子

<S31年卒>

- ・北谷知己 82歳を過ぎましたが、今も月～金フルタイム勤務、金土のライブハウス出演を辛うじて続行中。
- ・橋場勝男 ・松永 章

<S32年卒>

- ・海野尾 智 ・北井良吉

<S33年卒>

- ・川内紀彰 年齢には勝てず、体力の限界を感じており、残念ながら今回も欠席します。
- ・新堂良太郎 来月、数年ぶりに栗山へ行く予定で、楽しみにしています。
- ・小林睦子 ・永田貞雄

<S34年卒>

- ・白川和子 11月17日は大規模な聖書の勉強会と重なり、残念です。
- ・高山順子 70代最後の年となりましたが、書道、コーラス、読書会と手帳が予定でいっぱい、車で走り回る(?) 忙しさ、ちょっと大袈裟かな。
- ・藤川富枝 段々と老いてくると出掛けるのに自身がなく、主人の世話もあり、毎日静かに過ごしています。

・及 川 シズ子 ・佐 野 力 ・平 紀代子 ・藤 川 貞 夫
・三 島 憲 二 ・森 俊 夫

<S35年卒>

- ・後 藤 隆 一 9月に栗山に行ってきました。市街地の空地が多く、人口も11,800人と59年の間に半減です。栗高の今年の一年生は52名とのことでこの先が心配です。
- ・葉 袋 良 澄 詩吟や太極拳に励んでいます。
- ・山 代 秋 夫 3年前に山に行く途中で背中、腰を痛める怪我をし、未だ不定期で通院していますが、月に1～2回の軽登山は続けています。
- ・渡 辺 順 三

<S36年卒>

- ・長 瀬 明 子 元気にしています。
- ・服 部 元 昭 暇になってきたら、出掛けるのが億劫になり、町田市内が活動範囲です。
- ・横 内 豊 智 ・金 野 義 勝

<S37年卒>

- ・葛 西 嗣 明 ・山 岡 洋 江 ・鈴 木 紘 子

<S38年卒>

- ・亀 森 忠 司 岡山市で元勤務先のOB会があり、先約でしたので今回は欠席です。
- ・小 池 晶 子 9月11日に38年度卒の同期会があり、最後の会という事で多くの方が出席、旧交をあたためました。
- ・田 中 鈴 子 毎日元気で過ごし、仕事も頑張っています。趣味の登山も楽しみながら続けています。
- ・田 中 鈴 子 幹事の方々いつもお世話様です。私は昨年11月に金婚式を迎えましたが、夫婦ともども元気に過ごしております。現在も週3～4回仕事をしており、登山も元気に続けております。
- ・山 内 三 經 毎日元気に生活しています。
- ・有 塚 公 雄 ・種 村 洋 ・福 田 純 子

<S39年卒>

- ・山 下 マツ子 (出席予定でしたが、所用により急きょ欠席。皆さんによろしくとのこと。)
(マルガリータ)
- ・黄川田 ユキ子 ・富 澤 和 枝 ・宮 森 世津子

<S40年卒>

- ・池 上 富士雄 元気に暮らしています。
- ・芋 田 英 一 今回は仕事の都合で出席できませんが、次回は是非出席したいと思っています。
- ・小 野 浜 子 まだ保育園で頑張っています。1歳児の子供達と元気に遊んだり、走ったり、会話をしながら笑顔で楽しく過ごしています。最近は葉とも仲良し。
- ・中 西 堅 二 いまだ現役で頑張っていますが、体調を崩し、病院通いで、残念ながら欠席です。
- ・中 鉢 喜美江 「五月雨を集めてはやし最上川」(芭蕉) 「おくの細道の風景地」として名勝

指定の最上川のほとりにわが家があり、こちらに来たときはお立ち寄り下さい。

- ・堀 峰 雄 先日、市内のスーパーで愛犬のおやつを購入したら「栗山産」でした。以前にも種じゃがいもが「栗山産」だったり、思いがけず故郷に触れたひとときでした。
- ・和田 美津子 東日本大震災以後、毎年の災害は深刻です。世界中の若い世代が気候変動に即取り組むよう声と行動を起こしています。及ばずながら、"one action of small country"を胸にこの地球（ほし）の存続を強く記念しています。
- ・青 沼 俊 雄 ・國 岡 悠 子 ・中 村 美智子 ・藤 森 豊
- ・本 藤 尋 士 ・山 本 力

<S41年卒>

- ・伊 藤 勅 昭 ・梶 原 久 子 ・加 藤 文 一 ・金 子 英 二

<S42年卒>

- ・井 上 成 子 今回は残念ながら不参加とさせていただきます。
- ・赤 城 秀 明 大変残念ですが、別の会と重なり欠席です。次回は都合をつけ参加したいです。
- ・田 中 啓 子 ・笹 谷 雅 子 ・柳 澤 彰

<S43年卒>

- ・工 藤 哲 今年も出席できませんが、次回こそは…。盛会を願っています。
- ・庄 司 功 (出席予定でしたが、所用により急きょ欠席。皆さんによろしくとのこと。)
- ・田 口 栄 子 すみません。時間が作れません。
- ・中 野 勝 一 他に予定があり、出席できません。楽しい会になることを願っています。
- ・橋 本 三 男 夫婦共々元気で過ごしています。
- ・増 田 道 俊 当日は旅行のため参加が出来ませんが、盛会を祈念しています。
- ・吉 村 克 行 仕事のない週末は、毎週還暦野球で汗を流しています。皆様によろしくお伝え下さい。
- ・伊 藤 芳 江 ・蛭 名 秀次郎 ・大 林 裕 子 ・高 橋 道 子
- ・仲 井 裕 二 ・西 山 俊 郎 ・干 場 公 紀 ・増 田 裕 子
- ・松 山 保 則

<S44年卒>

- ・奥 田 芳 博 諸事情により、事務局長及び会計担当を退任いたしました。東京支部のご発展を祈念します。
- ・佐々木 明 全ての職務をリタイアし、北海道に戻りました。以後は札幌支部にて活動します。
- ・竹 内 富美子 当日は都合悪く欠席致します。
- ・吉 井 まりの 今回は生憎出席できませんが、次回機会がありましたら出席したいと思えます。今は娘2人、孫6人と家族も増え、元気に暮らしています。毎年夏には実家に帰っています。
- ・佐々木 輝 雄

<S45年卒>

- ・倉 地 正 行 ・長谷川 章

<S46年卒>

- ・角 恭 輔 元気にしています。
- ・中 野 典 子 仕事の都合で参加できません。
- ・大 西 敬 子 ・松 本 章 治 ・森 山 弘 司

<S47年卒>

- ・坂 本 政 子 いつもご案内ありがとうございます。一度も出席できず申し訳なく思っています。
- ・岩 本 良 弘 ・高 瀬 幸 男

<S48年卒>

- ・田 中 ヤス子 当日、同僚の結婚式と重なり欠席します。昨年48年卒の同期会があり、関東在住の方とも交流がもてました。65歳になり、体力維持のため週3日仕事、4日休みの毎日を送っています。
- ・金 丸 和 行

<S52年卒>

- ・黍 塚 均 時折、インターネットで母校の近況を見て、昔を思い出しています。

<S63年卒>

- ・竹 内 志 保 日程の都合が合わず、申し訳ありません。

— 次回開催予定のご案内 —

令和3年11月20日(第3土曜日) 午後からの開催
場所は東京都内(未定)

《栗高同窓会東京支部 役員名簿》

令和元年11月16日第35回総会において新会則第8条に基づき、選任されました。

◆ 栗高同窓会東京支部 役員・委員 ◆

○会 長	松 本 洋 幸	40年卒(新任)	○幹 事	元 田 勝 蔵	45年卒(新任)
○副会長	瀬 尾 明	43年卒(新任)	○幹 事	谷 内 稔	48年卒(新任)
○副会長	辻 谷 博	44年卒(新任)	○幹 事	澤 田 昌 子	48年卒(新任)
○副会長	牛久保 眞知子	46年卒(新任)	○幹 事	安 島 陽 子	63年卒(新任)
○事務局長	久 世 郁 夫	46年卒(新任)			
○会計監査	楠 文 利	42年卒(新任)			
○会計監査	太 田 見知代	43年卒(新任)			

任期：令和元年度総会から令和3年度総会まで

新会則第11条により、歴代会長を顧問に委嘱いたしました。

○顧 問	丸 岡 利 市	29年卒(第2代会長)	○顧 問	横 岡 武 之	31年卒(第5代会長)
○顧 問	真 貝 晃	28年卒(第4代会長)	○顧 問	桂 正 洋	37年卒(第7代会長)

松本洋幸新会長より、「歴史ある東京支部の灯火を燃やし続けることに会員の皆様方のご協力を賜り、役員一同尽力いたしますのでよろしくお願い致します」と、就任のあいさつがありました。

北海道栗山高等学校同窓会東京支部会則

● 第1章 総則

第1条 本会は、北海道栗山高等学校同窓会東京支部と称し、事務局を局長宅に置く。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。

第3条 本会の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 会員の親睦を図ること
2. 母校の発展に寄与すること
3. 会報および会員名簿に関すること
4. 本部や関係機関との連携を図ること
5. その他本会の目的達成に必要なこと

第4条 本会則に定めるもののほか、施行に必要な細則は役員会の議決を経て別に定める。

第5条 本会則の改定には、総会における出席会員の3分の2以上の同意を必要とする。

● 第2章 会員および組織

第6条 本会は、同窓会の道外の会員を対象として組織されるものとする。

第7条 その他役員会の承認を得た特別会員とする。

● 第3章 役員の選出と任期

第8条 本会には、次の役員を置く。

1. 会長 1名
2. 副会長 若干名
3. 幹事 若干名
4. 事務局長 1名
5. 会計監査 2名

第9条 役員は、総会において会員出席者の過半数の賛成をもって選出する。

第10条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

第11条 本会は、運営の一助として顧問を置くことが出来る。会長は、原則として歴代会長を顧問に委嘱する。

● 第4章 役員の任務

第12条 会長は、本会を代表し、総会・役員会等を招集するとともに会務を総括する。

第13条 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代行する。

第14条 幹事は、会員を代表し、会員の意向を役員会に反映する等業務を補佐する。

第15条 事務局長は、本会の庶務・会計などの業務を執行する。

第16条 会計監査は、本会の会計を監査する。

● 第5章 会議

第17条 本会の円滑な運営を図るため、次の会議を開催する。

1. 総会 (1) 1年おきに開催する。
(2) 会員相互の親睦を図るとともに、本会会則の改定等を審議する。
2. 役員会 (1) 会長、副会長、幹事および事務局長で構成する。
(2) 会則の改定、総会の開催、会計その他の運営方針等を審議する。
(3) 次期役員を総会に推薦することができる。

● 第6章 会計

第18条 本会は、会員より会費を徴収することができる。

年会費の額は、1000円とし、総会の開催年に2年分の2000円を徴収する。

第19条 本会の会計年度は、総会開催年の4月1日から2か年間とする。

第20条 本会の収支決算は、総会に報告し、承認を得るものとする。

第21条 本会の経費は、会費およびその他の収入をもってこれに充てるものとする。

第22条 本会は、役員および顧問が死亡したときは「弔意」として「生花」を贈ることとする。

付則 この会則は、昭和56年11月14日施行する。

付則 本会則は、平成13年10月27日一部改正する。

付則 改正後のこの会則は、令和元年11月16日より適用する。

訃報

ご冥福をお祈り致します

・内 海 洋 子 (28年卒) 平成30年2月
・広 岡 輝 正 (29年卒)
・小 林 博 之 (32年卒) 平成31年3月
・大和田 則 昭 (34年卒) 平成25年3月
・近 藤 正 昭 (34年卒) 平成29年12月

・大 脇 由貴子 (39年卒) 令和元年9月
・池 田 志津雄 (39年卒)
・玉 川 和 子 (42年卒) 平成30年4月
・植 野 和 雄 (51年卒) 平成30年9月

編集後記

☆今年は、「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されますが、地球温暖化の影響か東京の夏は過酷な暑さに見舞われることも多々あります。オリンピックの花形競技の一つマラソンが少しは涼しいと思われる我がふるさと北海道で開催（札幌ですが）とのこと、応援に行かれる栗高同窓生もいらっしゃることでしょう。

☆2年に一度の総会も無事終了し、ここに「支部だより」第35号で会員の皆様、並びに関係者の皆様に報告できました。詳細の一端は、会長の挨拶の中で触れていますが、プロの方々の歌を聞き、また引き続き行われた2次会では歌自慢の同窓生が歌い、語らい大いに楽しめました。

☆懇親会の盛り上げに一役買ったのは、北の錦の「まる田」です。小林酒造(株)からのご寄贈で、ふるさとの香りとエネルギーを頂きました。紙面を借りて感謝致します。

☆我が母校は90年、当東京支部は40年と月日

を重ねてきましたが、時代を反映して卒業生も年々減少、当支部もその傾向にあり、一抹の寂しさを感じます。「栗高さっぽろ会」では、「栗高を支援する会」に参加することを決意したとのことですが、東京支部も関わりを持って少しでもお役に立てばと考えます。

☆昨年の夏に今総会の準備打合せを行った際に、野球部の監督をしていた「ゴリさん」佐藤茂富先生が話題に上がりました。その夜、ネットで先生の訃報を知り、驚きました。後に、栗高と赴任先の元球児たちがお別れ会を札幌で行ったとのこと、享年79歳。ご冥福をお祈りします。

☆次回東京支部総会・懇親会は、令和3年11月（第3土曜日）の予定です。同期の仲間をお誘いの上ご参加願います。事前に事務局に連絡いただければご案内致します。

☆皆様の引き続きのご支援、ご協力をお願いしますとともに、ご提案、ご意見をお待ちしています。
(事務局)

<北海道栗山高等学校同窓会 東京支部>

◇会 長

松 本 洋 幸 〒241-0801 神奈川県横浜市旭区若葉台2-20-1002 TEL/FAX. 045-922-3638

◇事務局長

久 世 郁 夫 〒343-0804 埼玉県越谷市南荻島4208-4 TEL/FAX. 048-974-3569

東京支部だより第35号

発 行 日 令和2年3月1日

編集・発行 北海道栗山高等学校同窓会東京支部事務局

責 任 者 東京支部会長 松本 洋幸

印刷・製本 白金プリンター株式会社